

23

河川名

むろみがわ

室見川水系

室見川

特徴・アピールポイントなど

モデル河川・室見川の魚道整備から得られた知見により、「魚道整備の手引き(案)」を作成しました。



県管理河川には、魚道の整備が必要な横断工作物が約1千基あり、効率的かつ効果的に魚道整備を進める必要があります。

魚道整備を計画的に推進するため、室見川をモデルとし魚道整備及び魚類調査を実施し、「魚道整備の手引き(案)」を作成しました。

既設魚道の改善(落差の解消)

魚道の新設(11k000)

魚道の整備(4k870乙井手堰)



浜井手堰は、整備前には、落差30cm以上ある井堰でした。

整備前には、落差1m程度の井堰でした。

整備前には、既設魚道の下流部に土砂の堆積が見られました。



切欠を設置し、落差を30cmにしたところ、アユをはじめ、魚類の遡上が確認されました。

1段30cm以下となる階段式魚道を設置したところ、遡上を確認できました。

土砂を除去し、水制工を設置したところ、下流部の土砂堆積を抑制することができました。